

後期実行計画取組結果一覧表

大綱	主要項目	主要事務事業 (番号は事務事業コード)	取組概要	指標	基準年	数値	達成度	内容	今後の取組み	
					目標年	目標値				
消防体制の運用強化をめざして	防火・防災対策の推進	0101 違反対象物公表制度体制の適正な運用	火災危険性の著しく高い重大違反対象物について、是正指導を行うとともに時期を逸することなく必要な是正措置を講じ、重大違反対象物の根絶を図ります。	重大違反対象物数	R2 R5	1件 0件	100%	計画期間中に発覚した2件は規定に沿って確実に違反是正を行うことができた。	今後も適正に違反処理をすすめていく。	
		0102 査察体制の強化	火災危険性が比較的低いと考えられる「適正に管理されている建築物」については、立入検査を実施する優先順位を低くすることで、それ以外の火災危険性がより高い建築物への査察にマンパワーを集中し、査察の重点化・効率化を図ります。 「適正に管理されている建築物」の判断材料の一つとして、消防用設備等点検結果報告における不備事項の有無が挙げられることから、消防用設備等の点検結果報告率の向上を目指すとともに、当該報告により把握できた不備事項については、適宜、不備の内容に応じた改修等の指導を行います。	特定防火対象物の消防用設備等点検結果報告率の向上	R2 R5	59.2% 100%	70%	目標設定時59%から令和5年には70%と着実に成果が現れているものの、小規模飲食店等への指導が行き渡らなかったことなどにより目標達成することができなかった。	第二次前期実行計画でも当該事業に取り組んでいく。	
	消防・救急・救助体制の充実強化	0201 救急業務体制の強化	増加傾向にある救急需要に対応し救命率を向上するため、専門的知識、高度な技術を有する救急救命士の確保を目指し、救急業務体制の強化を図ります。	運用救命士の確保	R2 R5	50人 54人	100%	令和3年度5人、令和4年度5人、令和5年度4人の合計14人養成。非運用救命士を除いて運用救命士54人で目標達成する。	継続して救命士の養成を行うとともに救急隊員のスキルアップを行い救急業務体制の強化を図る。	
		0202 救助業務体制の強化	救助隊の効果的な運用と様々な救助事案に適切に対応できるよう専門的な教育を実施してその技術を習得させ、救助隊全体の資質の向上を図るとともに最先端の救助資機材を導入することで救助業務体制の強化を図ります。	専門教育の実施	R2 R5	0人 20人	100%	令和3年度8人、令和4年度6人、令和5年度6人の合計20人を養成し目標達成する。	継続してOJTを実施し、安全かつ迅速で的確な現場活動が行えるよう救助業務体制の強化を図る。	
	消防組織の機能強化	0301 安全管理体制の充実強化	複雑化する災害及び住民ニーズに適切に対応するには、車両を安全に運行して公務災害の発生を防止する必要があるため、交通安全に関する教育を実施し、安全管理体制の徹底を図ります。 また、感染経路や感染力が不明な感染症に対応するため、専門的な感染防止対策に関する教育を実施するとともに資機材を整備して、感染防護体制の充実を図ります。	交通安全教育	R2 R5	0回 9回	100%	交通安全教育は各年度3回実施し、感染防護衣は各年度60セット整備して目標達成する。	継続して安全管理体制の強化に取り組む。	
				感染防護衣の整備	R2 R5	870セット 更新180セット	100%			
	消防施設の充実強化をめざして	災害対応力の強化	0401 消防車両の整備	消防活動に支障をきたすことがないよう、日常の車両整備や点検を細かく実施するとともに、各種災害に対応するために車両等を計画的に継続更新し、適切な車両配置を行い消防力の維持向上を図ります。	消防車両等	R2 R5	保有台数69台 更新8台 削減3台	87.5%	更新車両8台のうち1台が世界的な半導体不足により消防車のベース車両が不足し納入に至らず、目標達成できなかった。	第二次前期実行計画においても引き続き取組み災害対応力の強化に取り組む。
			0402 消防用資機材の整備	消防用資機材の経年劣化等に対応するため、各種更新計画に基づき省力・機能強化・コストダウン等を考慮して効率よく整備していきます。	防火衣 消防用ホース FRP製空気ボンベ	R2 R5 R2 R5 R2 R5	296着 新規19更新41 40mm 300本 65mm 260本 40mm 390本 65mm 380本 15本 30本	100%	防火衣 新規19着 更新41着 40mmホース90本 65mmホース120本 FRP製空気ボンベ15本をそれぞれ整備する。	第二次前期実行計画においても引き続き取組み消防施設の充実強化に取り組む。
		0403 消防インフラの整備・強化	消防活動の中核を担う消防指令センターにおいて、119番通報をはじめとする様々な通報に迅速、的確に対応するため、更新計画に基づいた更新を行うとともに、あらゆる消防業務に必要な不可欠となる消防ネットワークについて通信インフラの冗長化等を含む再構築を行います。	消防指令センターの更新	R2 R5	0% 50%	100%	消防ネットワークの再構築は事業完了し、消防指令センターの更新は計画期間における目標を達成する。	継続して指令センターの更新を進捗させるとともに、消防業務に必要なインフラ整備を図る。	
				消防ネットワークの再構築	R2 R5	0% 100%	100%			
消防庁舎の維持・整備		0501 消防庁舎の維持・整備	消防署所の保全を効果的かつ効率的に実施していくため、防災拠点となる消防署所のうち、耐震化が必要となる宇都西消防署及び山陽消防署増生出張所について、両構成市の担当部局と連携し耐震化を図ります。	消防庁舎耐震化計画の策定	R2 R5	71% 100%	60%	両庁舎ともに建設が着手されているものの、計画変更等により目標達成できなかった。	今後も構成市担当部局と調整を行い円滑に事業を進める。	

後期実行計画取組結果一覧表

危機管理体制の連携強化をめざして	大規模・特殊災害発生時の体制強化	0601 警防本部体制の運用強化	近年、毎年のように派遣している緊急消防援助隊の応援体制及び受援体制の構築を図るため、緊急消防援助隊受援計画に基づく訓練を実施します。	緊急消防援助隊受援計画に基づく訓練の実施	R2	3回	100%	計画期間中の年度毎に1回訓練を実施し、目標達成する。	今後も継続して訓練を実施してより円滑な部隊運用、警防本部体制の確立を図る。
					R5	6回			
	関係機関・住民との連携・協働の推進	0701 地域防災力の強化	大規模災害時における消防団を中核とした地域防災力の充実強化を図るため、管轄する2市の消防団と常備消防の広域的な連携訓練を実施します。	消防団との合同訓練の実施	R2	4回	100%	計画期間中の年度毎に1回訓練を実施し、目標達成する。	今後は消防団のみならず、関係機関との合同訓練をするなど連携強化を図る。
					R5	7回			
		0702 住民との連携・協働の推進	防災訓練や防災講話を通じて住民の自助、共助力の向上を目指すとともに、救急隊が到着するまでの間、早期に応急手当が開始されるよう、救急講習等で普及啓発を行い、AEDを使用して適切な応急手当が実施できる体制づくりを積極的に推進します。	AED設置救急ステーション事業所数	R2	53箇所	100%	計画期間内に新規に3事業所を認定し、目標達成する。	今後も救急事案が発生した場合の消防への通報、適切な救護措置、救急隊への支援、協力を行うことのできる事業所の認定に努める。
					R5	新規3箇所			
		0703 119番通報要領の普及啓発	対象事業所に対して、119番通報要領を周知徹底することで119番通報時に必要な情報を正しく聞き取り、この情報を出動隊に伝達することにより、各種災害による被害の軽減及び傷病者の適切な搬送ができる体制の強化を図ります。	対象事業所への119番通報要領の周知徹底	R2	0事業所	100%	物品販売店舗や危険物を取り扱う216の事業所に119番通報要領の指導を行う。	今後も継続して説明会を開催し、迅速かつ的確な出動指令及び部隊運用を行い被害の軽減を図る。
					R5	216事業所			